

リニューアルした「ハレまち通り」の 事業効果を公表します

令和4年3月に一車線化等の再整備が終わったハレまち通り(旧:県庁通り)について、現時点における事業効果を検証し結果を取りまとめたので、お知らせします。

1 対象路線

ハレまち通り(市役所筋～柳川筋)L=約600m (北区幸町ほか)

2 内容

ハレまち通り再整備事業の目的である「中心市街地の回遊性向上」、「魅力的な都市空間の創出」、「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくりの推進」等について、各種調査データを用いてその効果を検証した。

3 主な検証結果

以下の検証結果より、ハレまち通り再整備事業は、目的に対して一定の効果をあげている。

【中心市街地の回遊性向上】

整備前と比較して、休日の歩行者通行量が約 1.4 倍増加する等、まちの活性化に繋がった。

【魅力的な都市空間の創出】

整備前と比較して、沿道1階部分に 27 店舗の新規出店や 3 棟の建物更新があり、民間投資を促進した。

【車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくりの推進】

アンケート調査の結果、ハレまち通りの再整備について約8割が肯定的に回答する等、市民等に「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」の取組への理解が深まった。

【自動車交通への影響】

整備前と比較して、周辺路線を含めた交通量や交通渋滞に大きな変化は無く、1車線化による自動車交通への影響はほとんど見られなかった。

※検証結果の詳細は、別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 庭園都市推進課 丸本・小林 直通086-803-1393 内線3688

ハレまち通り 歩いて楽しい道路空間創出事業

令和4年3月末、ハレまち通り（旧：県庁通り）がリニューアルしました。



整備期間：令和2年1月～令和4年3月
総事業費：約10億円

事業内容

岡山市中心市街地の2つの賑わいの核「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」を結び、また人優先の魅力を引き出すポテンシャルを持った『ハレまち通り』において、賑わいの創出や回遊性の向上の観点から、ハード施策・ソフト施策の両軸から事業を推進しました。

ハード施策：道路空間の再構築

ソフト施策：官民連携によるハレまち通りの魅力づくり

整備コンセプト

◆ 安全で快適な歩行空間

車道を2車線から1車線にすることによる歩道拡幅、自転車レーンの設置、連続照明の設置等により安全で快適な歩行空間を創出

◆ 街路樹による憩いの空間

街路樹をすべて植替えることで十分な緑陰を確保し、風格のある緑豊かな通りを創出

◆ 通りへ行ってみたいと思わせる魅力ある空間づくり

歩道の一部が沿道の民地と一体となってオープンカフェなどに利用され、人々が集い、ベンチでくつろいだり出来る空間の創出



▲植栽（アヤケヤキ）



▲連続照明とアップライト



▲県庁通りデザインミーティング「公開会議」



植樹、照明の設置

風格のあるアヤケヤキを植樹し、憩いの空間を創出。
連続照明による安全で良好な夜間景観。

車道を1車線化

クランクを設けることで車両の速度を抑制し、安全性を確保

歩道空間の利活用

ベンチの設置や拡幅した歩道を沿道事業者等が活用できる仕組みを構築

自転車レーンの設置

歩行者と分離し、安全で快適な歩行空間

After

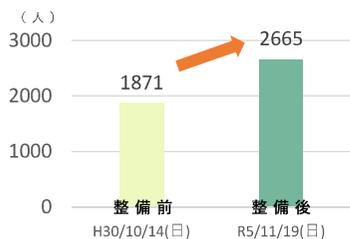
ハレまち通り再整備の事業効果について

問い合わせ先

岡山市都市整備局 都市・交通部
庭園都市推進課 街なかにぎわい推進室
岡山市北区大供1-1-1 TEL: 086-803-1393

中心市街地の回遊性向上

休日の歩行者通行量が約1.4倍増加

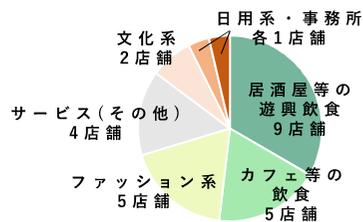


▲ 休日の歩行者通行量
※ 調査時間 10:00~16:00

- 平日(8:00~19:00)の歩行者通行量も、約1.3倍増加し、まちの活性化に繋がった。

魅力的な都市空間の創出

沿道(1F)に27店舗の新規出店

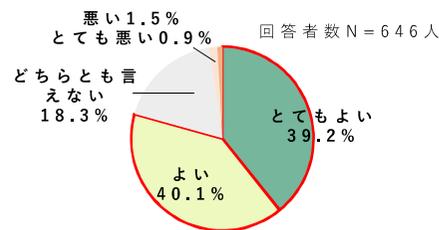


▲ 新規出店27店舗の分類内訳
※ 整備前後で比較

- 27店舗(全体の3割)の新規出店(店舗の入れ替わり含む)のほか、3棟の建物更新等、民間投資の促進。
- 沿道まちづくり組織の発足や、賑わい創出の取組が実施されるなど、まちづくり組織等の活動を促進。

車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくりの推進

約8割が再整備に肯定的な回答



▲ ハレまち通りのリニューアルについて(アンケート)

- ハレまち通りの再整備について約8割が『よい』と回答する等、市民等に「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」の取組への理解が深まった。



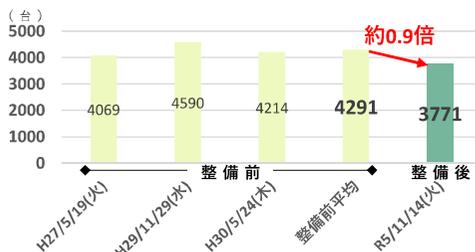
▲ 沿道まちづくり組織が主体となり、歩道空間と低未利用地(駐車場)を活用したイベントを実施



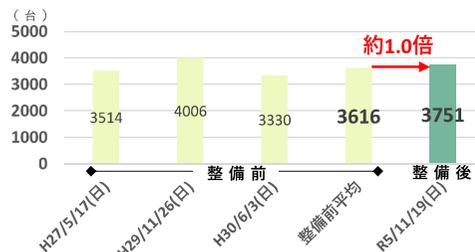
▲ まち歩きのリフレッシュに使用されるベンチ

自動車交通への影響

- 再整備前後で交通量に大きな変化は無く、周辺路線への影響も小さいと考えられる。
- ハレまち通りの主要交差点で懸念された渋滞は、小規模で時間帯も限定的であり、交通への影響は小さいと考えられる。
- 市役所筋の渋滞は、再整備前から見られており、ハレまち通りの先詰まりによる右折車両への影響もほとんど確認されなかったことから、再整備の影響ではないと考えられる。



▲ ハレまち通りの自動車交通量 平日(7:00~19:00)



▲ ハレまち通りの自動車交通量 休日(7:00~19:00)

整備後の課題

- 歩道でのオープンカフェ等の仕組みの活用促進
→ 令和5年度時点では5店舗しか活用できていない。
- 自転車利用者及び自動車ドライバー双方に対する安全運転、意識の向上等
→ 歩行者や自転車利用者が、通行車両との距離が近いなど危険とを感じる場面がある。

中・長期的に目指す効果

さらなる民間投資やまちづくり活動の活発化

沿道店舗の充実や良好な景観形成により、民間投資に繋がる好循環を生み、まちづくり組織等の活動も活発になる。

まちなかの回遊性向上

『岡山駅周辺エリア』と、『旧城下町エリア』を結ぶ軸となり、各エリアの取組が繋がり合うことで、街なか全体の回遊性が向上する。